

【事業者向け】H30年度 児童発達支援事業自己評価表（児童発達支援センター仙台市サンホーム）

配布数14枚 回収数12枚（回収率85.7%）

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4 (33.3%)	7 (58.3%)	1 (8.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの人数に対する広さとしては丁度よいが、母子一緒と考えると狭い。 • 定員が一杯になると狭い。 • 全体行事の場소가保育室と兼務で使いにくい。（工夫） • 行事等の時は、隣接する児童館などを借りて療育することがある。 • 個別療育や相談・面接時は、時間調整やパーティションで区切るなどして、スペースを産み出す工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5 (41.7%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • 配置基準は満たしているが、子どもの状態によっては不足。 • OT等の専門職員はクラス担当人員にならずに明確な役割のもと任務にあたる方がよい。 • 保育士を増やしたほうがよい。 • 産休・育休で人員不足となりフリーで動ける職員が少ない。 • 事務を専従で行う職員がいるとよい。（工夫） • 子どもの状態によっては、加配する努力をしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3 (25.0%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • 設置当初から、構造がバリアフリーや保育環境の動線面で配慮されていない。 • 設置当初より何度もバリアフリー工事を要望しているが改善されていない。（4人） • 面談室等のスペースがなく、不便である。（工夫） • 段差解消のため手作りスロープや足台を設置している。（3人）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11 (91.7%)	0	1 (8.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • 療育備品の建物内の収納スペースが不足しており、収納場所の確保・整備が必要（工夫） • 室内の空気汚染予防や感染症予防の為に換気をこまめに行っている。
業務改善	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> • 日々の振り返りをはじめ、個別懇談時等に保護者の声をひろって早期の改善・対応に努めている
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに。その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10 (83.3%)	2 (16.7%)	0	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者の評価に対し、職員会議において周知するとともに改善内容等を話し合い、会報や館内保護者交流室への設置等で公開する。 • ホームページでの公開は平成30年度から実施予定。
	7	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> • 内部外部研修において人材育成に力を入れている。 • 研修内容は不参加職員にも周知している。 • また障害特性理解の推進研修を実施している。 • 今後、職員の経験年数や役割の段階に応じた研修ラダーや新人スタッフの的確な育成計画が課題である。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> • 現在は外部講師によるアセスメント研修を実施し、個別の状態像を職員間で把握、共有し、家族ニーズを取り入れて支援計画を作成している。今後、標準化されたアセスメントツールでの客観的分析も検討していく予定である。
	9	児童発達支援計画には、具体的な支援内容が設定されているか。	11 (91.7%)	0	1 (8.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ保護者に「家族からみた子どもの様子シート」を渡して、保護者の捉えかたや家庭の様子を踏まえて現実に即した具体的な支援内容を盛り込むよう工夫している。
	10	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> • 個別支援計画にそって子どもに日々のプログラムを遂行するとともに、子どもの発達の様子を家族に気付いてもらい、個々の速度で必ず成長していく体験を支援する。

【事業者向け】H30年度 児童発達支援事業自己評価表（児童発達支援センター仙台市サンホーム）

配布数14枚 回収数12枚（回収率85.7%）

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもによっては固定化したプログラムが必要な場合もある。（工夫） 月毎の季節に応じた遊びの設定案を作成している。 同じ活動でも回数や経験に応じて素材や遊び方を変えている。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の療育の中で適宜個別活動と集団活動を組み合わせる療育を提供している。
	13	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 時差出勤の職員にも情報共有ができる工夫をし、その日の活動内容や役割分担をの確認を周知している。
	14	支援開始後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間の都合で、その日振り返りに参加できない職員とは次の日に共有するが、その日に共有しておくべき保護者との話しの内容や気づいた事等は伝達して共有するようにしている。
	15	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間内であっても丁寧な記録に努めている。今後も記載内容をもとに支援方法の振り返り、改善を行うように心がけていきたい。
	16	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11 (91.7%)	1 (8.3%)	0	<ul style="list-style-type: none"> 療育会議を通して療育内容の検証や改善を実施している。
関係機関や保護者との連携	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> （工夫） 担当者会議は受け持っている保育士も参加可能な時間帯を考慮して設定してもらっている。
	18	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 地域研修セミナーでの交流や担当地区保健師の見学受け入れにより、子どもの療育中の様子を共有し、連携を図っている。 児童館やのびすくの行事等への参加や相談支援を実施し、交流や連携を図れるよう努力している。
	19	（医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11 (91.7%)	1 (8.3%)	0	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は対象児が在園していなかったが、卒園児の対象児に対しては、保護者の依頼がある場合は実施している。
	20	（医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	9 (75.0%)	3 (25.0%)	0	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は対象児が在園していなかったが、毎年、近隣地域の小児科医に健康診断を依頼し、緊急時の診察や相談が必要な場合の協力体制を整備している。 訪問リハの担当者が来訪し、情報を共有している。
	21	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 引継ぎ、卒後フォロー等の情報提供と必要に応じて個別相談を実施している。（2名） 実施しているかどうかわからない。 また、児童館やのびすくの行事等への参加や相談を実施し、交流や連携を図れるよう努力している。
	22	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4 (33.3%)	8 (66.7%)	0	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は就学期の移行支援の対象児はいなかったが、卒園児や地域からの相談に対応する準備として関係機関への支援内容の情報提供を実施している。
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12 (100%)	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市発達相談支援センター（アーチル）職員の巡回訪問を受けて、個別の進路や支援の方向性などの助言を受けている。 仙台市や地域の児童発達支援センター間の定期的な会議を開催し、共通の課題抽出と改善案について検討している。 今後、地域の児童発達支援事業所等との連携も図りたい。

【事業者向け】H30年度 児童発達支援事業自己評価表（児童発達支援センター仙台市サンホーム）

配布数14枚 回収数12枚（回収率85.7%）

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係と機 連や携 保	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っているか	12 (100%)	0	0	・日頃から子どもの成長を伝えながらの療育や、保 護者が相談しやすい雰囲気作りを心がけている。ま た、子どもや保護者の様子に変化が見られた場合は スタッフ側から積極的に声がけ、保護者の心情に配 慮した傾聴を実施している。
	25	運営規程、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	10 (83.3%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	・見学やオリエンテーション時に丁寧に説明してい る。今後、契約時の一連の業務について全職員の周 知に努めたい。
保護者への説明責任等	26	「児童発達支援計画」を示しながら、支 援内容の説明を行い、保護者から児童 発達支援計画の同意を得ているか	11 (91.7%)	0	1 (8.3%)	・保護者からの意見を取り入れて個別支援計画を作 成し、署名捺印をもって同意を得ている。今後、家 族の周知に同意の意義について全職員の周知に努め たい。
	27	定期的に、保護者からの子育ての悩み 等に対する相談に適切に応じ、必要な 助言と支援を行っているか	12 (100%)	0	0	・定期的な個別面談やクラス懇談、また保護者の勉 強会でのグループワークを通して、子育ての悩みを 共有し、保護者が子育ての工夫に気づける場を設定 している。また、共通する悩みに対しては、研修会 等で情報を提供し、個別の助言や支援に繋げている。
	28	子どもや保護者からの相談や申し入れ について、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもや保護者に周知・ 説明され、相談や申し入れをした際に 迅速かつ適切に対応しているか	12 (100%)	0	0	・相談やクレームの申し入れは窓口を掲示して明示 し、迅速に対応している。子どもからの相談等は、 変化をとらえ対応が必要と感じた支援者による聞き 取りや寄り添いに限られている。
	29	個人情報の取り扱いに十分注意してい るか	12 (100%)	0	0	・家族に対しては契約時に、個人情報保護の説明を 行い、個人情報の使用の限定に関する承認を得てい る。 ・職員に対しては研修を実施し、周知している。ま た、行事等の際に保護者に写真撮影への配慮や協力 を仰いでいる。
	30	障害のある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしてい るか	12 (100%)	0	0	・子どもとの意思疎通は、個々の特性に応じた意思 疎通の方法やコミュニケーションツールを工夫してい る。 ・保護者への意思疎通については、口頭での説明に 加え、文書メモ等を使って子育てで忙しい中でも確 実に伝わる工夫をしている。
	31	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている か	10 (83.3%)	2 (16.7%)	0	・地域支援勉強会を開催し、地域の保護者にも参加 してもらった。 ・卒園児の夏祭りを通して地域の方々と交流を持つ 機会を設定している。また、併設している児童館の お祭りに参加協力して近隣住民との接点を大切に している。
	非常時等 の対応	32	緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアル等を策定 し、保護者に周知・説明されている か。また、発生を想定した訓練を実施 しているか	8 (66.7%)	4 (33.3%)	0
33		非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練を行って いるか	11 (91.7%)	1 (8.3%)	0	・子ども達が避難行動に慣れていくよう、繰り返しの 訓練を実施している。
34		事前に、服薬や予防接種、てんかん発 作等の子どもの状況を確認しているか	12 (100%)	0	0	・発達相談支援センター（アーチル）の引継ぎ内容 や入園時のフェイスシートをもとにオリエンテー ション時に保護者から丁寧な聞き取りを実施し、療 育時や送迎時に配慮すべきことは職員全員で主知を 徹底している。
35		虐待を防止するため、職員の研修機会 を確保する等、適切な対応をしている か	11 (91.7%)	1 (8.3%)	0	・マニュアルを整備し、職員研修で周知に努めてい る。

以上